

平成24年度に 実施した主な事業

平成24年度に実施した主な事業とその決算額を紹介します。

教育と人づくり

- 幼稚園に通う第3子以降の子どもの保育料を無料化…………… 6,400万円
- 学校などの耐震補強事業…………… 5億8,000万円

産業の振興

- 産業立地、ビジネス立地奨励金…………… 8億8,000万円
- 中小企業の経営安定化を図るため、事業所税の全部か一部を助成…………… 10億1,000万円

文化と歴史、地域の個性を生かしたまち

- 史跡の保存整備工事(日高遺跡・箕輪城跡) ……7,900万円
- 小栗の里整備事業(平成24年度事業分) ……1億9,000万円

安心・安全な地域社会づくり

- 幼稚園、保育所、小学校に防災頭巾を配布 …… 5,600万円
- 商店街、町内会街路灯のLED化補助 ……1億6,000万円
- 太陽光発電システム導入補助金…………… 1億1,000万円



防災頭巾を身につけて避難訓練

やさしい眼差しに満ちた市政

- 福祉医療費助成(子ども、障害者、単親世帯など) …… 30億8,000万円
- 老人福祉施設などの整備に助成…………… 2億6,000万円
- 予防接種(日本脳炎、インフルエンザ、麻しん風しんなど)に助成…………… 10億3,000万円

大勢の人が歩き、賑わう街

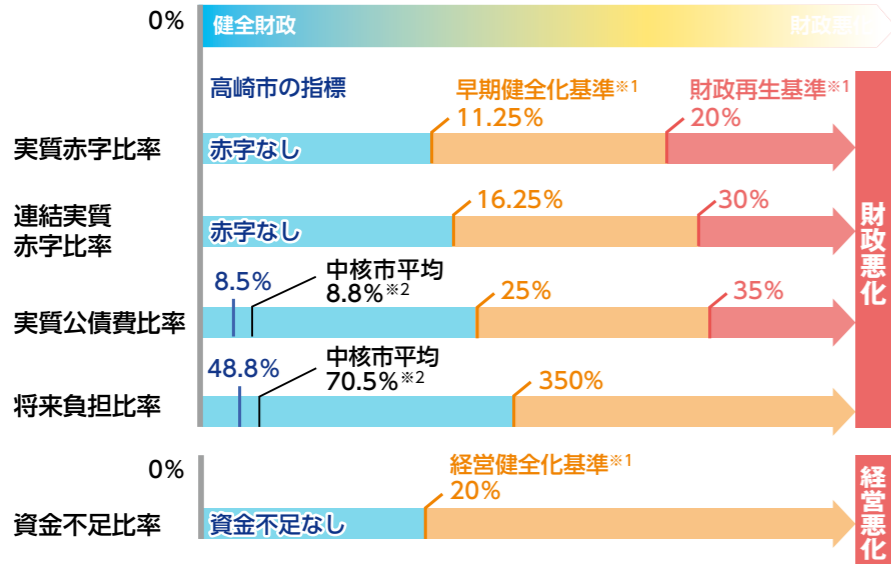
- スマートインターチェンジ整備 ……8億円
- 都市集客施設建設基金の積み立て ……20億円

本市全体の財政状況指標

平成24年度の決算を基に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律(財政健全化法)」の規定による健全化判断比率と資金不足比率を算定しました。本市

は、いずれの指標も早期健全化団体や財政再生団体となる基準を下回りました。このことから、本市の財政状況は健全な状態にあることが分かります。

財政の健全化判断比率と資金不足比率



用語解説

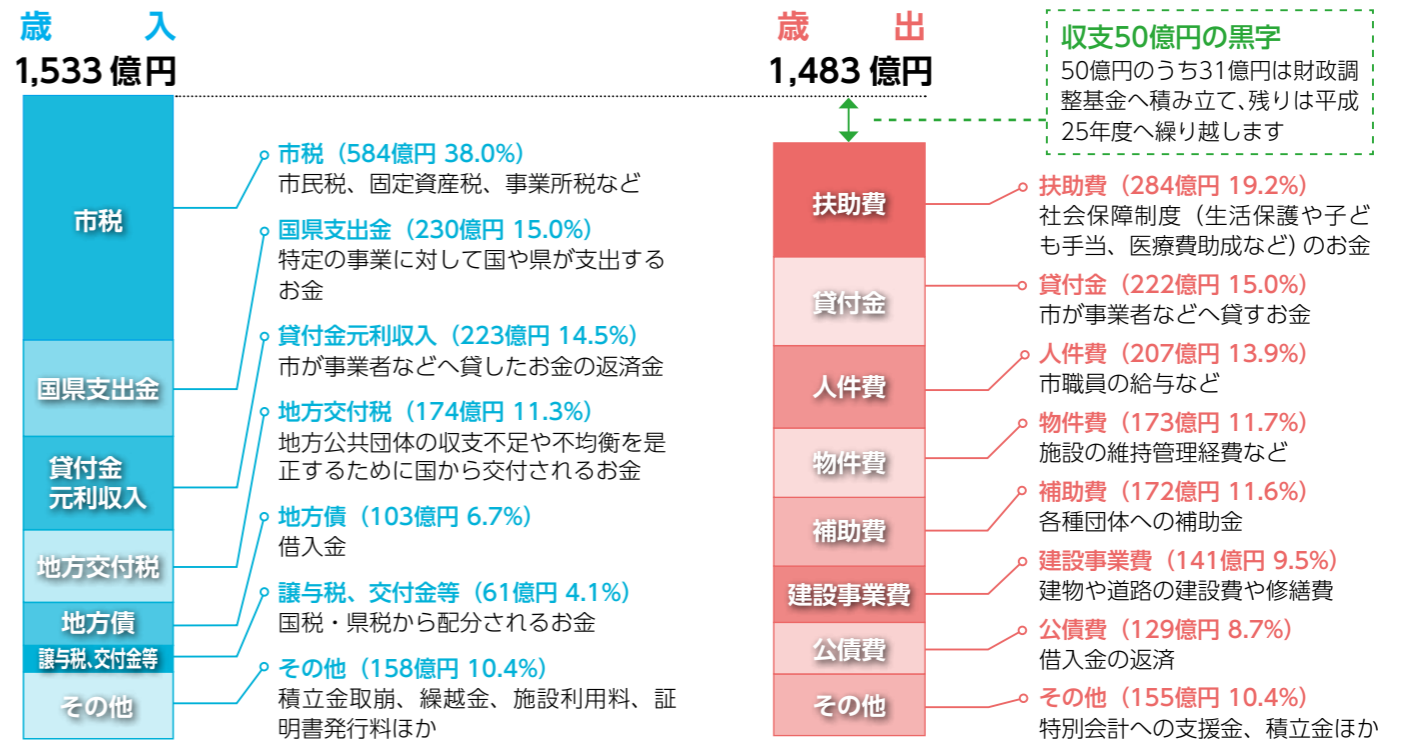
- 実質赤字比率**
一般会計と一部の特別会計を合わせた赤字の程度
- 連結実質赤字比率**
すべての会計を合わせた赤字の程度
- 実質公債費比率**
公債費(借入金の返済)とこれに準ずる経費の程度
- 将来負担比率**
企業会計、出資法人も含めた将来の支払い予定額の程度
- 資金不足比率**
公営企業会計ごとに事業規模からみた資金不足の割合※3

※1 基準を超えた場合は、財政健全化や財政再生の手続きに入らなければなりません
 ※2 中核市平均は暫定値(中核市市長会・9月9日時点)
 ※3 対象となるのは、水道事業会計、公共下水道事業会計、牛伏ドリームセンター事業特別会計、簡易水道事業等特別会計、農業集落排水事業特別会計

お知らせします 平成24年度の決算

平成24年度の各会計決算が、監査委員の審査を経て、平成25年度第4回市議会定例会で認定されました。本市の一般会計の歳入は1,533億円、歳出が1,483億円です。各会計別の決算はグラフと表のとおりです。問い合わせは、財政課(☎321-1214)へ。

一般会計



地方債(借入金)残高 1,318億円

- 事業債 (769億円)**
施設建設のための借入金
- その他 (549億円)**
地方交付税の不足を補うための借入金など

基金(積立金)残高 196億円

- 財政調整基金 (71億円)**
財源調整のための積立金
- 減債基金 (17億円)**
借入金返済のための積立金
- その他 (108億円)**
用途のある積立金

特別会計

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	392億8,220万円	378億1,099万円
介護保険	254億3,946万円	251億8,068万円
牛伏ドリームセンター事業	1億1,310万円	1億 497万円
母子寡婦福祉資金貸付事業	9,602万円	5,153万円
後期高齢者医療	37億7,328万円	37億4,155万円
簡易水道事業等	1億3,397万円	1億2,277万円
農業集落排水事業	1億5,228万円	1億4,996万円
駐車場事業	5億5,615万円	5億5,614万円
土地取得事業	12億2,710万円	12億2,710万円